

JF-IETF-RFC2474

IPv4 及び IPv6 ヘッダにおける DS フィールドの規定

Definition of the Differentiated
Services Field (DS Field) in the IPv4
and IPv6 Headers

第 1.0 版

2009 年 5 月 27 日制定

社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC2474に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第 1.0 版	2009 年 5 月 27 日	制定

4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC2402, RFC2475, RFC2434, RFC2406, RFC2460, RFC791, RFC1122, RFC1812, RFC2119

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元である IETF RFC によっている。

具体的な規定内容は RFC を参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

本標準は、インターネット上においてフローごとの個別の状態管理や信号処理をホップ毎に行う必要なしに、サービスの差別化を行えるようにする方式について記載する。本標準では、IP ヘッダにある DS フィールドについて規定する。DS フィールドは、IPv4 ヘッダでは TOS オクテットにマッピングされ、IPv6 においてはトラフィッククラスオクテットにマッピングされる。また、転送ノードにおける優先度の扱い (per-hop behaviours) についても規定する。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC2474: 「Definition of the Differentiated Services Field (DS Field) in the IPv4 and IPv6 Headers」